

福岡県農業大学校 平成29年度外部評価実績

2018/3/27

評価テーマ	農業大学校のPR、募集活動
重点目標	就農意欲の高い学生・研修生の確保に向けた受験者数の増加
目 標	養成科受験者数70(H28年度48)、研修科受験者数25(H28年度19+5)
実 績	養成科受験者数39+7(目標達成度66%)、研修科受験者数22(目標達成度88%)

	従来からの取り組み(継続中)	新たな取り組み(H29)	H29 目標値	29年度取組実績(30年1月末現在)	H29 実績値	達成度 (%)	
共 通	○学校要覧の作成 (2,000部作成、167高校+150関係機関へ送付)		2,000部	・2,500部作成、167高校+144関係機関へ送付	2,500部	125	
	○テレビ番組での報道 農業大学校での研修、実習内容をPR		2件	・県公報番組で、本校で実施している農業経営確立塾(10/15)、農福連携(3/4)が報道	2件	100	
	○農業関係新聞報道 ・農家留学研修・流通市場研修など特色ある研修をPR ・オープンキャンパスや高校との連携による実習等 ・社会人からのUターンなど研修生の就業状況をPR		2件	・日本農業新聞 4月 入学式 7月 朝倉災害復旧支援 1月 流通市場研修 ・JA筑紫コミュニティ誌に野菜コースが掲載された	4件	200	
	○一般新聞の報道 ・社会情勢の変化に対応した農業施策の中での農業大学校の取組を紹介		1件	・西日本新聞 連載「夢の種をまく」(29年10月～) ・西日本新聞「TODAY」 秋まつり(29年12月3日)	2件	200	
	○入学式・卒業式・学生募集等のマスコミへの情報提供 人材室を通じ県政記者クラブへ5回記者投げ込み		10回	・人材室を通じ県政記者クラブへ7回記者投げ込み	7回	70	
	○ホームページの拡充 ・受験に関する問い合わせをタイムリーにわかりやすく明示 ・保護者、企業の方等対象別に窓口から情報を発信 ・キャンパスライフ等学生に興味のある情報で充実した学校生活をアピール ・学校行事の情報発信		30回	・学校行事の情報発信	21回	70	
		○専門職業大学への移行を研究する ・経営意識の高い担い手の確保のため、政府が創設を目指す専門職業大学(2年・3年・4年制)について、文部科学省の制度やメリット・デメリットを確認し、移行について研究する。		一式	・学内に「魅力ある農大プロジェクト」を設立し、魅力ある農大づくりを検討するとともに専門職業大学について国ガイドラインを基に研究した	一式	100
		○IT機器を利用した高度な学習の実施 ・視聴覚室の改修を行い、LAN設備及びプロジェクター・スピーカーの機能向上により高度な学習を実施する。		一式	・視聴覚室を改修し、プロジェクター・スピーカーの機能向上を実施した	一式	100
		○オープンキャンパス告知のチラシ配布 (2,000部作成、関係機関(150)に送付+高校訪問時に配布)		2,000部	・2,000部作成、関係機関(144)に送付+高校訪問時に配布	2,000部	100
		オープンキャンパスの実施 (7月中下旬に3回実施)		3回 100人	・7月中下旬に3回実施(15.21.23日)	3回 47人	100 47
	秋のオープンキャンパスの実施 予約制の個別相談形式 10月中旬に1週間程度設定 10名参加		10人	予約制の個別相談形式 10月9～15日	25人	250	

<p>OFAR夢プランの実施</p> <p>若手農業者の先進地研修と意見交換会を開催</p>	<p>OFAR夢プランの拡充</p> <p>就農を目指す高校3年生に、農業大学校のコース別の先進的な専攻実習を体験させる。</p> <p>①1・2年生対象に若手農業者の先進地研修 7月7日予定 ②3年生を対象に農大での専攻実習を体験 7月12日予定</p> <p>①50名 ②10名参加</p>	<p>10校</p>	<p>大木町の農大OBの圃場(女性就農者、新規独立就農者)及びJAふくれんバクーンセンターを視察。また、当該OBや農大生と意見交換を実施</p> <p>①7月7日が降雨で延期、12月6日 ②3年生を対象に農大での専攻実習を体験 7月12日</p>	<p>9校</p>	<p>90</p>
<p>○訪問高校数(120校)</p> <p>・A 必ず訪問する高校に 84校 農業系高校、過去3年間に入学者がいる高校、専門学校等への入学者が一定以上いる高校 ・Bなるべく訪問する高校 34校 4年制大学にほぼ全員が進学する高校等 ・その他の高校 2校</p> <p>○学校紹介のチラシ(要覧の簡易版)</p> <p>○高校別ポスターの拡充</p> <p>○高校ガイダンスの参加</p>	<p>3,000部</p> <p>40校</p> <p>10校</p>	<p>120校</p> <p>3,000部</p> <p>40校</p> <p>10校</p>	<p>・A 81校 ・B 27校 ・その他 4校</p> <p>4/22 1校 6/16 1校 6/23 8校 7/5 1校 +2校 8/31 1校 8/30 1校 1/30 1校</p>	<p>112校</p> <p>2,000部</p> <p>48校</p> <p>16校</p>	<p>93</p> <p>67</p> <p>120</p> <p>180</p>
	<p>○施設改修による農大の魅力向上</p> <p>・野菜・花き・果樹・水田経営コースのハウスの施設改修の実施。 ・内部の環境制御装置(LEDランプ、CO制御装置)や高設ベンチ栽培システムの導入等により高度な栽培試験が可能となる。</p> <p>○受験機会の拡大</p> <p>・推薦入学試験について、自営農業者希望者のみではなく雇用就農希望者についても対象とする。</p> <p>・一般入学試験について、従来の12月に加え3月にB日程を実施することで、学力・意欲ある学生が、農大への受験が可能となるようにする。</p>	<p>一式</p> <p>実施</p> <p>実施</p>	<p>・野菜・花き・果樹・水田経営コースのハウスの施設改修の実施。 ・内部の環境制御装置(LEDランプ、CO制御装置)や高設ベンチ栽培システムの導入等により高度な栽培試験が可能となる。</p> <p>・要綱改正により、雇用就農者を対象 13人のうち8人が受験</p> <p>・定員割れのためB日程を実施</p>	<p>一式</p> <p>実施</p> <p>実施</p>	<p>100</p> <p>100</p> <p>100</p>
<p>研修科</p> <p>○福岡地区の就農相談会への参加</p> <p>8月、1月に後継人材育成室主催の相談会に参加。参加者数113人、相談者数30人 (H29年1月)</p> <p>○北九州地区の就農相談会に新たに参加</p> <p>(H28年度 参加者数 30人)</p> <p>○入校希望者に対する個別相談</p> <p>・普及指導センターからの情報 (H28年度 18件) ・推進機構からの情報 (H28年度 6件)</p>	<p>2回</p> <p>120人</p> <p>1回</p> <p>30人</p> <p>20件</p> <p>10件</p>	<p>2回</p> <p>120人</p> <p>1回</p> <p>30人</p> <p>20件</p> <p>10件</p>	<p>・1月に人材育成室主催の相談会に参加。参加者数120人、相談者数16人</p> <p>・参加者数 20人</p> <p>・17件 ・8件</p>	<p>1回</p> <p>120人</p> <p>1回</p> <p>20人</p> <p>17件</p> <p>8件</p>	<p>50</p> <p>100</p> <p>100</p> <p>67</p> <p>85</p> <p>80</p>
	<p>○農業経営確立塾の開催による研修科の魅力アップ</p> <p>・研修科を終了した農業者のステップアップを目標に、経営管理手法を学ぶ農業経営確立塾を開催する。 ・カリキュラムは、経営管理・マーケティング・労務管理・財務管理等をテーマとする。 ・午後及び農閑期における集合研修やICTを活用したオンライン研修を実施する。</p>	<p>一式</p>	<p>・11回、16人参加</p>	<p>一式</p>	<p>100</p>